



High-End Monitoring Controller

SATORI

オーナーズマニュアル

目次

1. 製品を安全にご利用頂くために	5
2. はじめに	6
3. 主な仕様	7
4. インストール	8
5. フロントパネル	9
6. リアパネル	10
7. ソフトウェアコントロールパネル	12
8. 高度な注意事項	15
8.1. グランドループとノイズ	15
9. 追加情報	15
10. 同梱品	15
11. 技術仕様	15
12. サポート	16

1. 製品を安全にご利用頂くために



感電・火災などのリスクを減らすためにご一読下さい

- ねじを外したり、カバーを開けないでください。ユーザー様ご自身で修理できるパーツはありません。修理や調整が必要な場合はテクニカルサポートまでご連絡ください。
- 水に濡れる可能性がある場所や、湿度の高い場所にさらさないでください。
- 万が一、異物や液体が製品に混入した場合は直ちに電源を落とし、コンセントを抜いてください。異物や液体が完全に取り除かれるまでは使用を控え、メーカーまでご連絡ください。火災や致命的な故障の原因となります。
- 濡れた手で電源ケーブルに触れないでください。
- 電源ケーブルを抜き差しする場合は、必ず本体の電源スイッチを落とした状態で行ってください。
- 本体の上に物を置かないでください。また本体は、周辺機器の動作に影響を与えそうな狭く換気の乏しい場所での使用はしないでください。
- 故障が起きたときはまず電源を落とし、電源ケーブルを抜いてください。自分で直そうとせず、テクニカルサポートまたはディーラーまでご連絡ください。
- 暖房器具からの熱風が直接あたる場所や、パワーアンプの近くには設置しないでください
- お掃除の際には強い化学薬品は使用せず、電子機器専用のクリーナーをご使用ください。
- 本体の電源を入れる前に全ての周辺機器を接続してください。
- 本製品の電源ケーブルはアースが接続されています。アースを取り付けずに本製品を使用しないでください。
- 電源ケーブルは人が踏んでしまうような場所や、他の物が上に乗ることのないように設置、接続するようにしてください。
- 本製品の電源を完全に落とす場合は、本体の電源を落としてからコンセントを外し、本体から電源ケーブルを抜いてください。
- ヘッドフォンやモニターを通して頻繁に、または長時間大きい音量・音圧に耳を晒してしまうと聴覚器官の損傷の恐れがありますので、くれぐれもご注意ください。
- 持ち運び、運送の際には必ず本製品をラックから外してお持ちください。
- 本製品は下記の温度環境で動作するように設計されています

1-50 °C、32-122 °F

2. はじめに

この度は、Antelope Audio の Satori をご購入頂き、誠にありがとうございます。

スマートな1Uラックに搭載されたスタジオレベルの機能性

Satori は現代のスタジオのニーズに合わせて設計されたデジタル制御のアナログモニタリング、サミングシステムです。これまで Orion32 や Zen Studio などのインターフェイスは、そのアナログ音質の臨場感を保ちつつ発揮する、デジタル音質の鮮明さに高い評価を得てきました。高度なアナログ回路設計が施された Satori は、そのハイレベルで妥協のない音質を提供します。

その豊富な I/O には、ステレオ入力×8、ステレオスピーカー出力×4、サブウーファー出力、独立したヘッドフォンアウト×4、ステレオサミング入力×4、ソフトウェアトークバック機能、トークバックマイク入力、等が含まれます。

Mac/Windows 対応の使いやすいコントロールアプリケーションにより、デバイスの高度なリモートコントロールやユーザープリセットの呼び出しが可能です。

Satori は Antelope の大人気製品 Orion32 との組み合わせでその力を最大限に発揮し、この組み合わせはホームオーディオの拡張から、オーディオやモニタリングの最高品質が求められる最先端のプロスタジオまで、プロアマ問わずどのようなミキシングやマスタリングに対応します。

詳しい情報は弊社ホームページを御覧ください。また FAQ やサポートセンターを設けております。

www.antelopeaudio.com

では思う存分 Satori をお楽しみ下さい！

Antelope チームより

3. 主な仕様

- 豊富な入出力
- 正確なステップリレー式ボリュームコントロール
- 4つの独立したヘッドフォン出力
- アナログサミングにより、より良いミキシング環境の構築
- 柔軟性の高いルーティング
- デジタルコントロールでアナログサウンド
- Mac/Windows対応のデスクトップアプリケーション

4. インストール

1. 本体に電源ケーブルを接続し、本体の電源を入れます。
2. Satoriとお使いのパソコンとUSBケーブルで接続します。
3. Antelope Audio のホームページより、Satori のソフトウェアコントロールパネルをダウンロードします。この作業は Satori を動作させるには必ず必要です。
4. コントロールパネルを起動し、初期設定を行います。この時 Satori のアクティベーションを行う必要があります。アクティベーションが完了しない限り本機は使用できません。

アクティベーション

1. コントロールパネルをインストールして起動すると初期設定画面が開きます。
2. "Create Antelope ID" のポップアップメッセージが出るので、指示に従い、アカウントを作成します。Continue で次のページに進みます。既にアカウントをお持ちの方は "Use existing Antelope ID" から次のページに進みます。
3. ご登録いただいたメールアドレスにAntelopeからご登録アドレスにメールが送られます。メールに記載されているリンクをクリックし、メールアカウントの確認を行います。
4. コントロールパネルでは "Sing in with your Antelope ID" というページが出るので、ご登録いただいたUsernameとPasswordをご入力いただき、Continue でさらに次のページに進みます。既にアカウントをお持ちの方は既存のものを入力して下さい。
5. "Activate your device" という画面に進み、ご購入日、ご購入店、御購入金額、為替、ご使用の DAW の情報をご入力して下さい。
6. "Done" を選択していただき、アクティベーションは完了です。

5. フロントパネル



1. 電源ボタン

スタンバイと電源オンの切り替えが出来ます。

2. 入力切り替えボタン(1～8ch)

選択した入力チャンネルがモニターへ出力されます。

3. サムセレクトボタン

選択したステレオサムがモニターへ出力されます。

4. コントロールダイヤル

高精度のリレー式ステップアッテネーターを採用、ヘッドフォン出力やメインモニター出力の調整が出来ます。ダイヤルを押すと設定する出力を選択できます。長押しで現在選択されている出力をミュート出来ます。

選択されているモニター出力、ヘッドフォン出力には LED が点灯します。(8a / 8b)

5. Mono、Dim、M/Sボタン

Mono ボタンを押すと現在選択されているモニター出力をモノラルに変更できます。このボタンはソフトウェアコントロールパネルのモノエフェクトで最後に選択した設定を呼び出します。

Dim ボタンを押すと -20dB アッテネーターが動作します。もとの音量に戻す場合、もう一度このボタンを押して下さい。

Mono ボタン起動中は M/S ボタンの仕様が可能です。M/S ボタンで左右のチャンネルのサムまたは差音の選択が来ます。この機能によってステレオ効果を得ることができ、Mid の音のみ Side の音のみをモニターすることが可能です。

6. トークバックボタン

トークバックマイクを起動します。ソフトウェアコントロールパネルを使用して選択したヘッドフォンに分配されます。

7. モニター切り替えボタン(1-4)

4つのモニター出力の選択、切替えができます。ソースは選択されたモニターへ出力します。

8. ヘッドフォン出力

選択可能な2つの個別のヘッドフォンアウト (HP1 / HP2)は、コントロールダイヤルを使用して操作できます。フロントパネル LED : 8a と 8b はコントロールダイヤルで選択されているヘッドフォン出力を表示します。

6. リアパネル



9. 電源ソケット

Satori の IEC ソケットは 95~245V の電圧に対応しているので世界中のどこでも電圧を気にせずにご使用が可能です。

10. 高速USB

Satori は USB Type-B 端子を採用しています。USB を通して Windows/Mac のソフトウェアコントロールパネルから Satori を操作します。

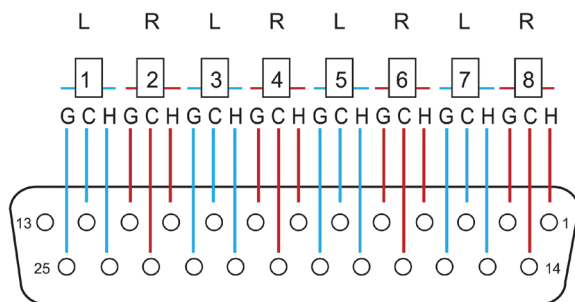
11. ステレオ入力×4

4つのステレオ入力 は XLR 端子1系統、TRS が3系統入力できます。

12. D-Subスルーのステレオ入力×4

ステレオ入力 5-8 は直接 D-Sub スルーで出力されます。

D-Sub ステレオ入力は D-Sub スルーを介すと同時にステレオサム出力へサミングされます。D-Sub 入力は 8ch にわたり D-Sub 接続されており、その 8ch が合計 4chのステレオ入力となり、奇数チャンネルは L 信号、偶数チャンネルは R 信号と振り分けます。



13. メインステレオ出力×4

切り替え可能な4つのステレオ出力、XLR 1 系統、TRS 3 系統

14. ステレオサム出力

入力チャンネル5-8をサミングし、TRSでステレオ出力します。

15. トークバックマイク入力

好みのダイナミックマイクを接続しトークバックの選択肢を増やせます。

16. バランスLFE出力

LFEはバランスTRSを通し、サブウーファーに接続することで選択されているモニター信号が出力されます。

17. ヘッドフォン出力

さらに2つの個別のヘッドフォン出力(HP3 / HP4)はボリュームコントロールダイヤル、またはソフトウェアコントロールパネルで設定、操作が可能です。

7. ソフトウェアコントロールパネル



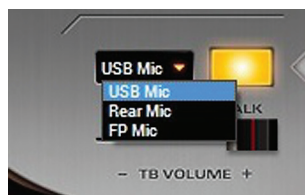
1. スタンバイボタン
2. サム出力フェーダー
3. インプット選択1-8 & サム
4. インプットトリム値 (-6dB～+6dBまで1dB単位)
5. メインモニターボリューム
6. アウトプットトリム値 (-6dB～+6dBまで1dB単位)
7. モニター選択
8. オプション画面



9. ヘッドフォン音量ダイヤル×4
10. ヘッドフォンソースメニュー



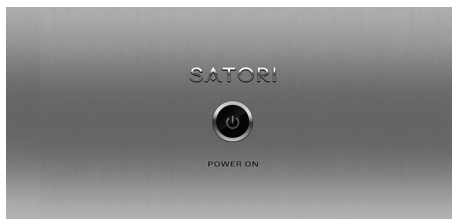
11. ヘッドフォンミュートボタン×4
12. トークバック起動ボタン×4
13. ピークメーター
14. プリセット1-5
15. トークバック起動ライト
16. トークバックボリュームフェーダー
17. トークバック入力選択



18. Mono / Dim / Mute / ハイパスフィルター
19. ステレオエフェクト



スタンバイ時、ソフトウェアコントロールパネルはデバイスの接続状態を表示します。



8. 高度な注意事項

8.1. グランドループハムとノイズ

Satori はこれらを極限まで可能な限り抑えた設計になっております。しかし、システムの全てのオーディオ信号に用いるケーブルはできるだけ短いものを使用し、バランス接続をお勧めします。また、電源ケーブルはオーディオケーブルとは別々に配線し、グランドノイズを避けるため専用の電源ボックスやパワーサンディションユニットの使用をお勧めします。

9. 追加情報

詳細情報やファームウェア、メディアプレーヤーのアップデートは弊社ホームページのサポートをご覧ください。www.antelopeaudio.com

10. 同梱品

- Satori 本体
- オーナーズマニュアル
- 保証書
- USB ケーブル×1
- 電源ケーブル×1

11. 技術仕様

Inputs:

Analog Inputs: 4 x Stereo Line Level Inputs. Ch1 on XLR & Ch2-4 on TRS
4 x Stereo Line Level Inputs on D-Sub 25
1 x Talkback Mic Preamp on TRS

Analog Outputs:

4 x Stereo Line Level Outputs on D-Sub 25
4 x Stereo Monitor Outputs, Mon1 on XLR and Mon2-4 on TRS
1 x Line Level Stereo Sum Output on TRS
1 x LFE Output on TRS
4 x Headphone Outputs (two on the rear and two on the front) on TRS

USB I/O:

USB 2.0 Hi-Speed, Type B
For use with the software control panel

Dynamic Range:

132dB

THD + N:

127 dB

Additional Information:

Operating Temperature 0-50°C/32- 122°F
Weight 2kg/ 4.4lb approx.

Dimensions (approx.):

Width 483 mm/19"
Height 44 mm/1.75"
Depth 220 mm/8.66"

Power Supply Power Consumption

AC Universal input ~95-245
V 25 Watts Max

12. サポート

Antelope Audio はハードウェア、ファームウェア、ソフトウェアコントロールパネル等、幅広いサポートサービスを提供します。

FAQ

よくある質問を弊社ウェブサイトにて公開しております。お困りの際にはご参照くださいませ。
<http://www.antelopeaudio.com/en/support>

お電話からのお問い合わせ

一般的な質問やテクニカルサポートはこちらまで : 03-5530-8476
受付時間 : 午前10時～午後6時 (日本時間 土日祝除く)

サポートデスク

下記のウェブサイトより「発券」して頂くと、24時間以内に対応させていただきます。
www.antelopeaudio.com/en/support/help-desk